

## 別紙標準様式（第7条関係）

## 会議録

会議の名称	第1回 枚方市総合計画審議会
開催日時	平成26年3月14日（金） 18時00分から19時50分まで
開催場所	市役所別館4階 第2委員会室
出席者	会長：新川委員 副会長：吉川委員 委員：伊東委員、榮野委員、岡田委員、加藤委員、角野委員、北川委員、後閑委員、小原委員、嶋田委員、高井委員、谷本委員、橋本委員、本田委員、宮原委員、三輪敦子委員、三輪信哉委員
欠席者	徳久委員、富岡委員
案件名	1. はじめに 2. 会長及び副会長の互選 3. 諮問 4. 審議会の運営について 5. 第5次総合計画の策定に向けて
提出された資料等の名称	1. 枚方市総合計画審議会委員名簿 2. 計画策定に係る関係例規 3. 枚方市総合計画審議会の傍聴に関する取り扱い要領（案） 4. 枚方市の概要 5. 第5次枚方市総合計画の策定に向けて 参考資料1. 第42回枚方市統計書（平成24年版） 参考資料2. 枚方市の財政事情（平成25年度版） 参考資料3. 長期財政の見通し 参考資料4. 第4次枚方市総合計画（基本構想・基本計画） 参考資料5. 第4次枚方市総合計画（第2期基本計画） 参考資料6. 平成25年度事業計画 参考資料7. 平成26年度市政運営方針（要旨） 参考資料8. 枚方市新行政改革大綱 参考資料9. 枚方市市勢要覧
決定事項	1. 会長に新川委員を、副会長に吉川委員を互選した。 2. 枚方市長から第5次枚方市総合計画の策定について諮問を受けた。 3. 会議を原則公開とし、傍聴にあたっては枚方市総合計画審議会の傍聴に関する取り扱い要領（案）に基づくこととした。また、会議録については、各委員の確認を経て、会長の承認を得た上で確定し公表することとした。 4. 枚方市の概要（沿革・特性・中核市移行・財政事情等）や現第4次総合計画の概要のほか、第5次総合計画策定の根拠・策定体制・スケジュール等について確認した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署（事務局）	政策企画部 企画課

審 議 内 容	
事務局	<p>ただ今より、第1回目の枚方市総合計画審議会を開催いたします。</p> <p>私は、事務局を担当しております、政策企画部長の岸でございます。どうぞよろしくお願いいたします。会長と副会長の選出、諮問までの間におきまして、進行役を務めさせていただきます。</p> <p>本日の出席委員は18名で、枚方市附属機関条例に基づき、この審議会が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>また、大変恐縮ではございますが、本日付の委嘱状をお手元の封筒にご用意させていただいております。なお、本審議会の最中に、審議、諮問の風景の写真撮影を行うことがあります。何卒ご了承くださいませようお願いいたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして竹内市長より、一言、挨拶をさせていただきます。</p>
竹内市長	<p>枚方市長の竹内でございます。この度、平成28年度を始期とする新たな総合計画の策定に向けて、総合計画審議会委員にご就任いただき、厚く御礼申し上げます。本日は、公私ご多忙のところ、またこのような遅い時間からの開催にもかかわらず、ご出席を賜り、改めて感謝申し上げます。</p> <p>さて、現在の「第4次総合計画」は平成13年度にスタートしたもので、人と人、人と自然、人とまちの豊かな関わり合いの中で、市民の心がときめく、魅力あるまちをつくることを、本市の目指すまちの姿として策定したものです。計画策定以降、この間、平成23年度の地方自治法の改正により総合計画の策定義務が廃止されましたが、長期的な展望に立って目指すべき将来像を描き出し、その実現に向けて総合的かつ計画的な行政運営を行うことは、まちづくりを進める上で必要不可欠なことであると考えております。そこで、この度、改めて総合計画の策定をお願いしたいと考えておるところでございます。</p> <p>今、全国的に、少子高齢化だけでなく、人口減少社会の到来が自治体における大きな課題として捉えられております。本市も例外ではなく、市制施行以来、一貫して増加しておりました人口が、平成21年度を境に、微減ではございますが、減少傾向を示しております。人口減少社会は、市税収入の減少を招くだけでなく、まちの活力にも影響することから、定住人口の確保は、これからのまちづくりにおいて大きなテーマであると考えております。こうした状況の中で、現在、多くの方から選ばれるまちとなるよう、本市の魅力を凝縮した「健康医療」「教育文化」を都市ブランドとして掲げ、まちの魅力を作り出し、市民の方が安全安心に暮らしていける、充実した生活を送ることができるよう、市政を進めているところです。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、ただ今申し上げました私の思いを受け止めていただき、何卒実りのあるご議論をお願いし、計画策定にお力添えいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>以上、甚だ簡単ではございますが、第1回枚方市総合計画審議会の開催にあたりましての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	(委員紹介)
事務局	<p>枚方市附属機関条例第4条第2項の規定により、会長と副会長の選出を委員の皆様の互選により、お願いしたいと思います。</p> <p>なお、本日は時間の都合上、会長、副会長ともにご選出いただいた後、前席にお座りいただき、議事進行をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、委員の皆様から何かご提案ございませんでしょうか。</p>
宮原委員	<p>本日、大半の方が初めての顔合わせで、提案するのは中々難しいと思いますので、事務局の方でご提案があれば、お願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>

事務局	<p>ただ今、宮原委員から、「事務局に考えがあれば」というご提案をいただきましたが、いかがでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それでは、ご賛同いただきましたので、ご提案させていただきたいと思います。</p> <p>総合計画につきましては、その性格上、市の政策全般に関わるものであることから、総合政策を専門にされ、行政全般について見識をお持ちであるとともに、これまで多くの審議会の会長を歴任され、現総合計画第2期基本計画策定時にも会長をお務めいただきました、新川委員に会長をお願いしてはどうかと考えます。</p> <p>また、副会長には、工学、特に都市デザインを専門にされ、枚方市の都市計画についても熟知いただいております吉川委員をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それでは、ご賛同いただきましたので、新川委員に会長を、吉川委員に副会長をお願いさせていただきたいと存じます。</p> <p>それでは、市長の方から新川会長に対して、審議会への諮問をさせていただきます。</p>
竹内市長	<p>枚方市総合計画審議会会長 新川達郎様。枚方市長 竹内脩。</p> <p>第5次枚方市総合計画の策定について諮問。</p> <p>標記の件につきまして、枚方市総合計画策定条例第4条の規定に基づき、第5次枚方市総合計画策定について貴審議会に諮問します。よろしく願いいたします。</p>
新川会長	<p>謹んで務めさせていただきます。</p>
事務局	<p>なお、大変恐縮ではございますが、市長は、次の公務が入っておりますので、ここで退席させていただきます。</p> <p>(竹内市長退席)</p>
事務局	<p>それでは、これからの進行は会長をお願いしたいと思います。会長、副会長、どうぞよろしく願いいたします。</p>
新川会長	<p>ただ今、会長に互選をいただきまして、ありがとうございます。現行の計画の策定にあたりまして、ご協力させていただいたという経緯もあり、ご推薦またご選任をいただいたと考えてございます。次期の総合計画に向けまして、私も一生懸命考えてまいりたいと思っております。何よりも委員の皆様方のご協力、というよりは、知恵をいただかないと、良い計画にならないと思ってございますので、何卒よろしく願いいたしたいと思っております。先ほどの市長さんのお話にもございましたが、この数年、枚方市は、従来の右肩上がりから転換点に入りつつあるこれからの縮小社会と言われている中で、どのような枚方市をつくっていけばよいのか、大きな社会経済的な変化に枚方市がどのように向かっていくのか、その行った先にどのようなまちをつくっていくのか、非常に大きな課題が今回の計画づくりには課されていると理解しています。是非、皆様方と知恵を合わせて、この難題に答えていければと思っております。ひとつよろしく願いいたします。</p>
吉川副会長	<p>副会長の任に就かせていただくことになりました吉川でございます。どうぞよろしく願いいたします。現在、枚方市の都市整備に関わる幾つかの審議会、審査会をお手伝いさせていただいております。メンバーの皆様の中で、都市計画に関わる物的環境、ハードのほうということで私に白羽の矢がたったのではないかという気がしております。他の審議会、審査会においても、全てベースになるのは総合計画です。総合計画が一番の上位計画になりますので、しっかりと皆様と考えていきたいと思っております。ご協力のほどよろしく願いいたします。</p>

新川会長	<p>吉川先生とともに、総合計画審議会をしっかりと進めていきたいと思ひます。本日は、2時間程度を目途に進めさせていただきたいと思ひますので、委員の皆様方におかれましてもご協力のほど、しっかりとご議論いただきますよう、よろしくお願ひいたします。それでは、本日の次第に従いまして進めさせていただければと思ひます。</p> <p>お手元の「次第」の「4. 審議会の運営について」ということで、本日は最初の会議ということでございますので、今後、当審議会をどのように進めるのかについて、会議のルール、特に枚方市では、基本的にこうした会議の公開ということを進めてきておられますし、単に会議のこの場に傍聴に入っただけということだけではなく、会議録を作成して、皆さんに読んでいただけるようにする、そういった対応をどのようにしていくのかについて、審議会の皆さんにお諮りしなければいけないということでございます。その確認を最初にさせていただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、ご説明させていただきます。</p> <p>(手元の資料の確認)</p> <p>(資料2「計画策定に係る関係例規」の説明)</p> <p>(資料3「枚方市総合計画審議会の傍聴に関する取り扱い要領(案)」の説明)</p>
新川会長	<p>ただ今、ご説明いただきましたように、枚方市の審議会等の会議の公開等に関する規程に基づきまして、本会議の公開、非公開につきまして、原則公開のようですけれども、改めて審議会の委員の皆様にご諮らせていただきます。また、会議録の調製ということがございます。会議録については、公開であれ、非公開であれ、必ず作成して、読んでいただけるような形にしておくということです。それから、傍聴についても取り扱い要領(案)がございました。本日はいらっしやいませませんが、傍聴の方が来られましたら、会議公開の原則に従って、お入りいただくことになった時に、この取り扱い要領でよいかどうかご検討いただければと思ひます。会議録につきましては公開が原則となっておりますので、この点も含めまして、委員の皆様から何かご意見やご質問ございましたら、いただいきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
新川会長	<p>基本的には開かれた行政、市民参画による行政運営というものを旨とする、また市政全体の透明度を高めるという観点からこうした公開の仕組みが用意されております。こういう原則から考えますと、ここで非公開というのではないだろうということで、ただ今事務局から説明がありましたけれども、会議の公開、会議録の調製、傍聴取り扱い要領につきまして、特にご異論がなければ、資料にございますような形で進めさせていただくことよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
新川会長	<p>それでは、本審議会の傍聴について、原則として認めるものとし、会議録についても、先ほど事務局からの説明どおりの方法で作成し、公表していくことを原則とします。</p> <p>なお、この審議会の性格からしますと、ほとんど可能性はないと思ひますけれども、個人情報に関わるような議論をせざるを得なくなったというようなケースがありましたら、また改めてご相談させていただくことになるかと思ひます。</p> <p>それでは恐らく本日の中心的な議題となろうかと思ひますが、次第の5「第5次総合計画の策定に向けて」につきまして、今後のスケジュールや総合計画そのものをどのように定めていくのか、またその総合計画を作らなければならない枚方市という市がどのような都市であるのかなど、まずは総合計画の策定にあたって必要な前提の知識になろうかと思ひますが、この辺りを少しお手元の資料に基づきまして、事務局からご説明いただき、委員の皆様のご理解を深めていただければというふうにお願ひしております。</p> <p>それでは、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料4「枚方市の概要」の説明)</p> <p>(参考資料2「枚方市の財政事情」の説明)</p>

(参考資料3「長期財政の見通し」の説明)

新川会長

ただ今、枚方市の概要、歴史や現況、そして財政事情、現状と今後の見通しなど、中には厳しい数字もありましたけれども、大都市として成長が見込めるところも含めて事務局からお話がありました。これまでのご説明につきまして何かご質問がありましたら、いただいてまいりたいと思います。初めてのことで分かりにくい点多々あるかと思しますので、どうぞご自由にご質問いただければと思います。よろしく願いいたします。

三輪敦子委員

参考資料3「長期財政の見通し」の4ページの歳出の人員費については、中核市移行に伴い、一時的に増加しますが、今後は段階的に減少していくと見込んでいますと書かれていますが、この段階的に減少していくとの見通しの根拠は何でしょうか。

新川会長

ありがとうございます。それでは事務局、お分かりになる範囲でよろしく願いいたします。

事務局

ご質問のありました参考資料3「長期財政の見通し」の4ページの下に人員費の推移を載せさせていただいております。今回、長期財政の見通しを立てる際の人員費の考え方ですけれども、定年退職を迎えますと、その補充は再任用職員として、正職員よりも人員費が安い職を雇用していくというような算定をしております。また定年を迎えるまでの間に退職する方の補充については新入職員を見込んで算定していておりますので、後年度になるにつれて、人員費が低下していくというような結果となります。そのため、今後は徐々に人員費が落ちていくという形になっております。

あと、現在、「職員定数基本方針」というものの策定を進めております。その中でも26年度の中核市移行に伴い、一旦人員費が増えますけれども、今後減少していくと見ています。ただグラフ中、増えたり減ったりしておりますけれども、これは退職者数が増減いたしますので退職手当が増える年度、減る年度がございますので、人員費が増える年度、減る年度が出てきている。そういう状況でございます。

新川会長

よろしいでしょうか。その他いかがでしょうか。

伊東委員

参考資料3「長期財政の見通し」7ページの(8)「その他」のところ、最後の文章、「保育所の民営化や…」というところがありますが、これは全て民営化ということになるのでしょうか。

事務局

その他の項目の中で見込んでおります主な効果としましては、1つは今、委員からご指摘がありました「保育所の民営化」がございます。現在、直営で運営している保育所の民営化を進めていく予定がありまして、平成27年に2園の民営化を予定しております。また別に、「幼稚園の閉園」を予定しておりまして、こちらは平成27年に4園を予定しております。長期財政の見通しでは、現在、民営化や閉園の方針が決まっている分だけを反映させている状況でございます。

新川会長

その他いかがでしょうか。

新川会長

それでは、また疑問点など出てきましたら、随時お尋ねいただくということで、今日は1回目ということで色々説明を聞いておかなければならないということもございまして、次に進めさせていただいてよろしいでしょうか。

新川会長

それでは、続いて、本市の現総合計画の内容、新たな計画の策定に向けた市の考え方、検討体制などについて、これが、今後の私どもの計画策定に向けて、言ってみればフレームになるかと思いますが、これにつきまして事務局の方から説明をいただき、ご意見を頂戴してまいりたいと思います。

事務局	<p>(参考資料5「第4次枚方市総合計画(第2期基本計画)」の説明) (資料5「第5次枚方市総合計画の策定に向けて」の説明)</p>
新川会長	<p>ただ今、現在の本市の運営の基本となっております、第4次の総合計画について、体系及び考え方をご紹介いただきました。そして、私どもがこれから検討していかなければならない、次の第5次の総合計画の策定に向けまして、今どういう根拠に基づいて、どういう策定体制をとって、どんなスケジュールを持って考えているのかご紹介をいただきました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、是非いただいてまいりたいと思います。どうぞ自由にご発言いただければと思います。なお、本市の概要等についてもご説明いただき、財政事情等についても資料をいただきました。こちらに戻っていただいても結構です。本日が1回目ということになりますので、できるだけご理解を深めていただくという観点から幅広くご意見、ご質問をいただければと思います。</p>
宮原委員	<p>資料4「枚方市の概要」の「4. 中核市への移行」のところで、今後行う主な事務権限とありますが、権限が移譲されることに伴い、金銭的なこと、歳入的なことはついてくるのでしょうか。権限だけでしょうか。資料から読み取れなかったので、教えてください。</p>
新川会長	<p>では、事務局よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>お答えさせていただきます。中核市に関してですけれども、大阪府の方から、約1,800項目の事務を受けるという形になっております。ただ1,800と言いましても、事務が1,800ではなくて、例えば手続き的なことで、申請をする、受理をするといったようなことも含めて1項目という形で数えられておりますので、本市の事務事業単位で言いますと、大体50程度になるのかと思います。それに関しまして事務費もかかりますし、人件費もかかってくるということになりますので、それにつきましては、国の方からの地方交付税、国庫支出金、あるいは手数料などを、財源とした形で事務を進めてまいることになります。</p>
宮原委員	<p>概ねどの位になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在の見込みですが、地方交付税、国庫支出金、手数料等合わせまして約30億4千万円の歳入となります。歳出関係では、人件費等を含めまして27億8千万円程度で、差し引きますと2億6千万円くらいの歳入超過ということになります。</p>
宮原委員	<p>ありがとうございます。</p>
角野委員	<p>2点あります。1点目は、前回、大変長いスパンの中で計画が1期、2期に分かれています。この総合計画の基本構想及び基本計画の期間をどのようにするのか。それと関連して、もう1点、今後、基本調査で人口推計などいろいろ出てくると思いますが、人口推計だけではなかなか見えないので、例えば大阪府全体では中学3年生の子ども数の数が近年の中ではピークで、後はずっと減少傾向になると言われていますが、その辺のところは推計は0歳児から見れば、見えてくる話なので、もし今後そういった資料が出てくるのであれば教えていただけたらと思います。</p>
新川会長	<p>2点いただきました。今度の計画の計画期間、そして人口推計についてこれは内部的には検討しておられるようですが、この2点について今のところの考え方を教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>お答えいたします。今後の第5次総合計画の期間というお尋ねかと思いますが、それについては審議会の中でご議論いただきまして、いろいろなお考えをお示しいただけたらと考えておるところでございますが、事務局の方でも庁内で議論しておりますので、それについても機会があればご報告していきたいと思っております。</p>

	<p>子どもの調査の件につきましては、枚方市における人口推計については、そういった点を踏まえて推計しております。ご指摘の大阪府の調査については研究させてもらいたいと思います。</p>
新川会長	<p>総合計画は長期的な計画ですので、1年、2年という訳にはまいりませんが、5年とか10年とか、前の計画では15年など期間をとっておりましたので、これに準ずる中長期の計画になる、ただ実際どういう期間が望ましいのかについては、この審議会の皆様議論をしながら、答申の中身に反映させていきたいというふうに思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
加藤委員	<p>先ほど、市民3,000人を対象にした意識調査で、市の施策全般にわたって重要度、満足度が示されていますが、このアンケートの項目はどのような形で質問されているのでしょうか。次回説明されるのでしょうか。</p>
新川会長	<p>事務局、その辺りはどのような考えでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的には、施策の重要度、満足度がメインになっておりまして、その施策の単位につきましては、第2期基本計画にあがっております行政全般にわたる48の施策目標について確認させていただいております。その他、枚方市の印象、今後住み続けたいかどうかといったところをあわせて確認しております。調査結果につきましては、次回詳細をご説明させていただきます。</p>
加藤委員	<p>その時で結構なんですけれども、前回の施策を前提にすると、それがどの程度達成されたか、あるいはそれに対して市民の方がどの程度満足されているかということが分かるということかと思えます。基本的にはその枠組みを前提にして満足度を調べているということだと思いますが、他方では、この間、環境が大きく変わっているの、ひょっとしたら、これまでと違う枠組みを求められているかもしれない、それはもしかすると、ワークショップで発見しながら、キーワードみたいなものをつかんでいくというような感じになるのではないかと思います、うまくいけばいいんですがその辺をちょっと。</p>
新川会長	<p>ご指摘のとおりであるかと思えます。アンケート自体は大量のもので、どうしても設問の仕方、回答の仕方で一定形式的にしないと集約できませんので、5段階評価のような形でアンケートをするというのが通例でございます。ただ、それでは今、ご指摘がありましたように社会経済変化や皆さん方の気持ちの変化をきちんと捉えきれないということもあって、昨年暮れから市民の皆様方から直接声を聞くワークショップもありますし、学生アンケートなどもそうした側面があるかもしれません。いろいろな手法で市民の皆様方の声を入れていこうとやられています。十分かどうかは、この審議会でご委員の皆様からご議論いただければと思います。こうしたものをベースにしながら、これからの審議を進めていきたいと考えています。</p>
柴野委員	<p>次回、細かく示してもらえれば結構ですが、審議会のスケジュールについて、平成27年7月までと相当長丁場になりますが、先ほどありましたように、目標年度をいつにするかといった議論は早い段階にすべき議論ですし、後半になれば各分野ごとの施策といった細かい議論になってくると思えます。そういった大まかなイメージは持っていますが、今のうちに事務局の方で、今後どういった考え方で進めていくかというのがあれば教えてほしい。</p>
新川会長	<p>月1回程度で、来年の7月位まで議論をしてまとめていくというような大まかなスケジュールのイメージはいただいたのですが、その中で、大体この時期にはこの位までというような、何か事務局としての腹案のようなものがあれば、またなければ次回辺りに整理して出していただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>現時点での事務局の一方的な考えではございますが、次回につきましては、市の最上位の計画でございますので、先ほどありました市民参加の関係のアンケート調査結果等についてご確認いただき、ご意見をいただきたいと思いますと考えています。それ以降、委員ご指摘のように、そもそもの総合計画の期間の考え方、構想の期間をどうするか、基本計画の期間をどうするかといったご議論をいただいた後、基本構想をご検討いただければと考えておりました。基本計画により変更しながらという部分はございますけれども、できれば先に基本構想を決めていただいて、その後具体的な基本計画を決めていただきたいと思いますと考えております。26年度内に基本構想が固まって、基本計画の形が一定見えてくればありがたいかなといったスケジュール感でございます。</p>
新川会長	<p>なかなか今の段階では、第何回目までにここまでというのは難しいかもしれませんが、最初数回は共通認識を深めるように情報提供いただきながら、26年4月以降は基本構想、この計画全体の上部にある、どちらかといえば抽象的、一般的な目標や将来の姿となる構想を議論していただき、来年の3月位までに固めたい、あわせて、理想の姿を実現するための主な施策を同時並行的に少しずつ議論しながら、これを来年の夏くらいまでに固めたいといったお話でございました。当然、そういう作業の中で、何年間の計画にしたらいいか、どんな構成、体系にしていっていいのかといった議論をあわせて進めさせていただくということになろうかと思えます。</p>
加藤委員	<p>基本的な構想は、行政サイドから出てきたものを我々がいろいろ議論しながら修正していくということなのか、そもそもここで作り上げていくイメージなのか、どちらでしょうか。多分、行政の意思というのはあると思うんです。例えば、先ほどの人口がどんどん減ってくるとか、財政的に非常に厳しい、そういう状況の中から、市として方向性、ビジョンがあった方がいいんじゃないかと思えます。要するに、幾ら消費者のニーズを聴いても、ひとつのコンセプトにはまとまっていかないんですね。</p>
新川会長	<p>市としての考えは、庁内研究チーム、あるいは市としての総合計画策定委員会を行政内部で持っておられて、並行して検討が進むということになって、この審議会との意見交換の中で、最終案、私達なりの案ができていくというイメージではありますが、この辺りの作業については、事務局はどのような腹づもりでおられるのか、少し説明いただければと思います。</p>
事務局	<p>今、会長よりご説明いただきましたが、先ほどの資料5の2ページをご覧いただきたいのですが、左側に総合計画審議会がございまして、その下に市長というのがございまして。基本的には先ほど市長の方から会長の方に策定についての諮問をさせていただいたところでございます。審議会でのご議論を経た上で、最終的に答申をいただいて、パブリックコメントをかけるというような手続になります。その間におきましては、庁内で総合計画策定委員会というのを組織しておりますので、審議会と委員会との間でキャッチボールをさせていただきながら、まとめていければと考えております。先ほどの計画期間やどのような構成にするのかも含めて、基本的には審議会でご議論いただくこととなりますが、必要に応じて、たたき台として、こういうものを出してほしいとご提示をいただきましたら、策定委員会のほうで検討しまして、審議会の方に提示させていただいて、それを材料にご議論いただければありがたいというように考えております。</p>
新川会長	<p>今のような手順で恐らく進むことになるであろうと思えます。もちろん予め原案ありきではなくて、この審議会での議論をしっかりと踏まえて、行政側でもご検討いただき、たたき台あるいは参考資料を出していただき、それに対して審議会で議論を重ねて、より良い案を出していくというイメージをお持ちいただけるとありがたいなというふうに思っております。</p>
新川会長	<p>特に意見がございませんようでしたら、本日のところのご意見・ご質問は以上にさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。</p>

	<p>特にないようですので、質疑につきましては以上とさせていただきます。ただ、たくさん資料をいただきました。いろいろな疑問点や聞いてみたいこと、よく分からない点などこれから出てくるのではないかと思いますので、そうしたご意見につきましては、また事務局の方にお尋ねいただければと思っております。そういった疑問点や総合計画策定に関わるご意見ご質問を出していただければ、ご意見いただく方のご同意の上ではありますけれども、審議会全体でも各ご意見やご質問、その回答を含めて共有させていただければと思います。できるだけ、委員間で情報の共有をし、問題意識をお互いに理解をしようようにできればと思っておりますので、積極的に事務局の方に聞いていただければと考えております。</p> <p>それから、次回の審議会は、先ほど事務局から説明がありましたけれども、これまで枚方市の方で、この総合計画策定に向けて、既にいろいろ準備を進められており、アンケート調査やワークショップ等々を重ねてこられているということでございますので、こういった資料・データを委員の皆様にご紹介いただきながら、それを材料に、これからの計画のあり方や計画の内容に盛り込むべき事柄等々について、少し自由に議論できるような時間を次回・次々回にとっていければと考えております。次回に向けて、本日の資料はたくさんありますからすべて読んでくださいというのは酷な話でございますから、目に入ったところをパラパラとめくってきていただければと思います。</p> <p>それでは予定しておりました時間より若干早いですけれども、特に委員の皆様方から、次回こんな資料をとか、こんな進め方をといったご意見があれば、最後にお伺いしておきたいと思っておりますが、何かございますでしょうか。</p>
新川会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>次回からは具体的な計画の中身に関わるいろいろな情報を共有しながら、最初は手探りの、計画全体がまだよく分からないという状態になるかと思いますが、少しずつ情報を共有しながら議論を重ねていくという作業を始めてまいりたいと思っております。</p> <p>特になければ以上にさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>連絡事項等ございましたら、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>本日の資料について、ご不明な点などございましたら、恐れ入りますが、3月27日（木）までに、電話、メールなどでも結構でございます。事務局までご連絡いただきましたら幸いです。</p> <p>また、本日は、多くの資料を配付させていただいております。そのため、事務局の方で次回に備えて、机の上にそのままにしておいていただければ、お預かりいたしまして、各委員専用のバインダーに綴って保管させていただきたいと考えております。</p> <p>次に、本日の会議録につきましては、事務局で案を作成しましたら、各委員にご確認いただき、その結果を会長と調整し、決定したものをホームページで公表していきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>なお、次回の審議会の日程は、4月25日（金）午後6時から、本日と同じ別館4階にあります第3委員会室で予定しておりますので、よろしくお願いたします。以上でございます。</p>
新川会長	<p>今回は4月25日ということですので、是非万障繰り合わせて、ご参集いただければと思います。資料につきましては保管していただけるとのことですが、一方ではお手元で持っておられて眺めてみたいという方もおられるかと思っております。そこはそれぞれご判断いただければと思います。また、市役所に来てご覧いただくこともできるのではないかと思います。その辺りは適宜ご判断いただければと思います。それでは、第1回審議会を終了したいと思います。長い時間ご協力ありがとうございました。</p>